



安全・安心のまちづくりのため



家具の転倒防止 家の中を安全にしましょう！

家具が倒れると、その下敷きになって命を落としたり、室内に物が散乱して避難や救助が遅れ大きな被害を受けることがあります。このような被害を未然に防ぐため、家具の転倒防止は、身近で重要な震災対策です。


物の倒れやすさ

重心が低いほど物は安定して倒れにくくなります。背が高く、奥行き短い家具は、非常に倒れやすいので、固定したり置く場所を見直す必要があります。



それぞれのお家に合った対策をしましょう！

対策例・注意点


倒れにくくするために	固定	転倒防止用具の取り付け	収納の仕方
	 <p>家具を壁や天井に固定するときは、柱や下地材のある位置に器具をとりつけないと効果が得られません。</p>	 <p>転倒防止用具を組み合わせて使用し、効果を高めましょう。</p>	 <p>積み重ね式の家具は、金具などで上下の連結を補強して、上部の家具の落下防止を。</p>

倒れても直撃されないために

長時間いる場所を安全に

倒れやすい家具は人の出入りの少ない部屋にまとめて置くようにし、寝室や長時間過ごす部屋には、置かない。

やむをえず家具を置く場合は、人の位置に倒れてこないような配置を。



倒れた家具に逃げ道をふさがれないために

出入口付近、廊下、階段に家具を置かない

倒れて出入口をふさぐことがないか、家具の配置を見直しましょう。



落下物の被害を受けないために

重い家電は固定し、壊れ物の落下を防止

テレビなどの重い家電は、できるだけ低い場所に置くようにし、飛んでこないよう固定しましょう。

壊れ物が落下してこないよう、飾り物や道具類の置き方を見直しましょう。

ガラスには飛散防止フィルムをはりましょう

食器棚等の観音開きの扉は、勝手に開かないようストッパーをつけ、ピン類を入れた棚には落下防止柵を。






出典：県民だより奈良2009年1月号